

発行 社会福祉法人 聖友ホーム  
 聖友乳児院（乳児院）  
 聖友学園（児童養護施設）



**聖友ホーム応援団 聖友ホーム ささえ隊 発足！**

今年、聖友ホームの正式な後援会として『聖友ホームささえ隊』が発足、動き始めました。聖友ホームを応援して下さるかたがたのお力を結集して、子どもたちのためにできる事を考え、行動し、さらにつながりを広げていけたらと考えております。これから、『ささえ隊』が地域にシッカリ根付き、さまざまなご縁を糧に成長できますよう、お力添えをよろしくお願いいたします。

聖友ホームささえ隊 事務局

●『ささえ隊』について詳しくは、チラシまたはホームページをご覧ください●

応援ありがとうございます！

**『つなぐいのち基金』さん**

たくさんの方々に支えられている聖友ホーム。  
 今回は、今年の夏に「流しそうめん大会」の企画・サポートをしてくださいました『公益財団法人 つなぐいのち基金』の豊住吉弘さんにお話をうかがいました。



**聖友ホームとの出会い**

約3年半前、私どもの代表と西川理事長が知り合い、財団としてワークショップのお手伝いをさせていただいたのが始まりです。私個人としては、西川理事長と、私の学生時代のボランティア体験などを交えてお話しをさせていただく中で共感し合う部分が多く、「何かお役に立てるのではないかな」と思い、サポートさせていただくようになりました。

**これまでの主なご支援**

- 2014年3月 財団として『児童養護施設・乳児院における地域つながりサポーターの育成・連携・活用モデルケースづくりプロジェクト』として助成金を支給
- 毎年開催される『ゆうやけ市』のお手伝い
- 2016年夏『流しそうめん大会』
- 『聖友ホームささえ隊』のPRグッズの選定 など

イベントに合わせて、つなぐいのち基金のボランティア仲間のみなさんとお伺いしております。お手伝いさせていただきながら、多くのことを学んでおります。

**今後に向けて**

つなぐいのち基金は、日本最小級の公益財団であり、ヒト、モノ、カネは本当にわずかですが、“志”には自信があります。聖友ホームさん、そして子どもたちを支えていこうとする方々が集うファミリーの一員として、地域とのつながりが深まるイベントの開催やお手伝いはじめ、アイデアを持ち寄りながら、ともに支え合う『親戚のようなコミュニティ』というものを目指していければと考えております。

今後ともよろしくお願いいたします。

**2016年7月31日  
 流しそうめん大会、開催！**

夏のランチといえば、そうめん。サラサラと流れてくる麺をすくい上げて食べれば、おいしさも楽しさも倍増！このイベントにあたり、



豊住さん自らが竹を切り出し、ボランティアの皆さんと一緒に装置を作ってくださいました。はじめは「そうめんは嫌い」と言っていた子どもも、モリモリ食べていたそうです。

「学園の前を通りかかった親子さんも立ち止まってご覧になっていました。来年は、近隣のかたにもご参加いただき、聖友ホームと地域をつなぐイベントのひとつにできればと思っています。（豊住さん）」

**【つなぐいのち基金】**

高齢者の力を社会的ハンデを抱える子どもたちへつなぎ、相互に支え合うことができる関係を作り、次の世代へより良い社会をつなぐことを目指す公益財団法人 URL: <http://tsunagu-inochi.org>

### ▼ 近年のNEW FACE

前号に続いてフレッシュな職員のご紹介です。個性いろいろ、でも子どもに向かう気持ちはひとつ！  
意欲あふれる仲間たちをよろしくお願ひします。

- ① 子供に関わる上でのモットー
- ② 休日の過ごし方

#### 学 園



関 悠希  
(千葉県出身)

笑顔の毎日を子どもと作ります

- ① 一人一人に合った深い関わり。  
ゆるい時はゆるく、  
厳しい時は厳しく。
- ② スポーツをする時もあるが、基本はインドア。



守屋琴乃  
(東京都出身)

失敗してもその失敗を次の学びに活かしたい

- ① 子ども一人ひとりの関係を築くこと。何があっても子どもと向き合う。
- ② 常に家にいることが多いですが、今は引っ越したばかりなので生活に必要なものを買ひ揃えています！笑

#### 乳 児 院



竹内正樹  
(東京都出身)  
15年度まで学園職員で  
現副院長

乳児院と学園をつなげる「切れ目のない支援」と働きやすい職場づくりのために尽力します。

- ① ・厳しさの中より真の信頼関係は構築される  
・メリハリ
- ② 海釣り、行き先を決めないドライブ、スポーツ観戦(息子の野球部の応援含む)



鈴木 豊  
(東京都出身)

事務の仕事はまだ不慣れですが宜しくお願ひします

- ① 子どもが思わず笑ってしまうような接し方で子どもが楽しい気持ちでいられるようにしたい。
- ② ドライブ、喫茶店、絵を描く



土井 香  
(大阪府出身)

先輩方に教わりながら子ども達を支援していきます

- ① 一人ひとりの気持ちに寄り添い、楽しいことや悲しいこと、色々なことを共感すること。
- ② 上京したてなのでご近所を探索していきます。



南谷 碧  
(北海道出身)

子どもたちと健やかに過ごせるように頑張ります

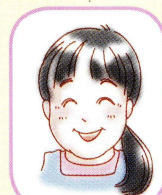
- ① “子どもの時期を子どもらしく過ごす” そのために関わります。
- ② 外の空気を吸ってリフレッシュします。



大澤 舞  
(岩手県出身)

子どもと共に成長していきたい

- ① 楽しく仕事ができるようがんばってまいります。
- ② テレビを見る



山本久美子  
(埼玉県出身)

よろしくお願ひします！持ち物に刺繍などでお名前入れをしますので、お気軽にお声かけください

- ① 笑顔で声掛けをするようにしています。
- ② 海に行きます。何かをつくる。



大極絵る実  
(千葉県出身)

子どもや先輩のお役に立てるように頑張ります

- ① 子どもの言動の背景にある気持ちに常にアンテナをはって関わってまいります。
- ② 友人の家に行く、国会図書館に行く、研修に行く、福岡に行く、寝る、食べる など

#### 職員撮影者より

それぞれの業務の合間のごく短時間の撮影の中で、笑顔を引き出せるよう、冗談などを言いながらシャッターを押しました。職場の明るい雰囲気をもお伝えできればと思います。(佐々木)



第2回

委員会活動紹介 ——— 学園・乳児院は、共に7つの委員会を設けています。 ———

それぞれの委員会に全職員が関わり様々な活動をしています。  
今回は学園の育成委員会、乳児院のお楽しみ実行委員会をご紹介します。

委 員 会	
学 園	●育成 ●余暇 ●進路 ●保健 ●防災防犯 ●地域交流 ●リスクマネジメント
乳児院	●養育 ●看護 ●研修 ●お楽しみ実行 ●防犯防災 ●地域交流 ●リスクマネジメント

育成委員会

子どもたちの声をしっかり聞いて  
活動にかかしていきたい

育成委員会では「子どもたちが安全であることを実感し、安心できる生活の場をつくる」という目標のもと、日々活動に励んでいます。

主な活動として、『児童会(小学生以上)』と『性教育学習会(全児童)』を学年ごとに年2回ずつ実施しています。児童会は子ども同士が意見を出しあい、意見をまとめて学園を良くしようとする場。性教育学習会は学年に応じた性の知識を学ぶ場。男女別に行い、高校生になれば個別に聞き取りを中心に運営しています。いろいろと難しい性教育ですが、子どもたちに大切なことをきちんと伝えるため、職員も勉強しています。

また生い立ちの整理の一環として、中高生が隣接する聖友乳児院に赴き、乳児の生活の場の見学やお世話を体験する、『乳児院体験』を実施しています。生命の尊さや思いやりの気持ちを育み、赤ちゃんとの触れ合いを通して、身勝手な性行為などを考えられる良い機会となっています。



乳児院体験で赤ちゃんのご対面

育成委員会は、子どもたちとじかに関わる時間が多く、やりがいを感じます。これからも子どもたちの声にしっかり耳を傾けることを心がけ、活動していきたいと思えます。



命の重さを肌で感じます



ごはんを食べさせるのもひと苦労

お楽しみ実行委員会

みんなが笑顔になる行事をめざして  
運動会とクリスマス会を運営



楽しい運動会!



お魚じょうずに釣れるかな〜?

お楽しみ実行委員会は、毎年5月に開催する運動会と、12月に開催するクリスマス会の運営を担っています。在籍する子どもたちだけではなく、保護者のかたや退所した子どもたち、里親さんたちもお招きします。主に赤ちゃんから2〜3歳児が楽しめる内容(子どもたちに馴染みのあるキャラクターや動物を取り入れるなど)を考え、皆が楽しめる行事づくりをしていきます。また、当日は大きな音が出してしまうので、近隣の方のご協力も欠かせません。

約2ヵ月の準備期間中はさまざまな苦労がありますが、開催当日のご家族の笑顔や楽しんでいる子どもたちの姿を見ると、それまでの苦労が報われ、達成感を覚えます。今後も乳児院に関わる皆様にとって、素敵な思い出となる行事を目指して、運営・準備に取り組んでいきます。



クリスマス会での“出張パネルシアター”

## 夏の恒例イベント「おたのしみ会」が開催されました

毎年8月26日、聖友学園の庭で開催される「おたのしみ会」。近隣のかたを招いて、聖友ホームの子どもたちや関係者とともに楽しむこのお祭りは、おかげさまで今年も多くの人でにぎわいました。

8月26日と決められているのは、卒園生が遊びに来やすいように。「この日に聖友ホームへ行けば友だちに会える」と卒園生が集まり、ちょっとした同窓会の場にもなっています。

たこ焼き、かき氷、ポップコーン、おでんなど、お祭りに欠かせない食べ物の屋台も多数。災害時の炊き出し訓練も兼ねて、毎年、備蓄食品の試食も行ないますが、今年はレトルトのチキンシチューがふるまわれました。

お祭りフルメやゲームを楽しんだあとは、子どもたちの大好きな花火で締めくくり。また来年も、お楽しみに!

園庭は  
お祭りムード一色!



1番のお楽しみは  
屋台フルメ!?



防災用食品の  
チキンシチューも  
好評でした



### 「ありがとうございました」 平成28年6月～平成28年9月(敬称略)

〈寄附金〉石井昌宏、坂根利恵、早水良子、朝日管財(株)、芳根由貴子、深沢和正、西川元也、鎌田あずさ、淡路真太郎

〈寄付物品〉小杉本幸信、杉本織枝、原みさ子、原博明、篠塚恵津子、吉田真理、東京都食肉生活衛生同業組合、株式会社公益社、セカンドハーベストジャパン、浜田眼科医院、(株) 興建社、今北亜希子、中根美鈴、満島正子、松川、恵田晴美、村田優子、近藤けんじ、近藤まさよ、友寄暁美、前田啓一、前田陽子、音喜多美佳、友井秀和

〈おたのしみ会お祝い〉市村好延、大澤聖隆、世尊院幼稚園・園長 大澤聖智、深沢久子、遠藤商事(有)、(有)海藤電気商会、魚音、西島畜産、広瀬青物店、道原商店、三井精肉店

〈招待〉(株)ポリショイサーカス、千代田ビル管財(株)、ロシア文化フェスティバル

※そのほか匿名で様々な寄附をいただきました。ありがとうございました。

### ● 編集後記 ●

初めて“手作りの流しそうめん装置”を見て、感心しました。今後も行事のご報告などを写真満載でお届けし、わかりやすく読みやすいぴーちっこにしていきたいと思います。



発行 社会福祉法人  
**聖友ホーム**

聖友乳児院(乳児院) 聖友学園(児童養護施設)

〒166-0001 杉並区阿佐谷北3-28-19

聖友乳児院 TEL 3338-1849 FAX 3338-4679

聖友学園 TEL 3338-1844 FAX 3338-1894

Eメール sasaetai@seiyuhomu.or.jp ホームページ <http://www.seiyuhomu.or.jp/>